

目 次

○考える会における説明内容	2
○河川整備計画の目標に関する事項	3
○河川の整備の実施に関する事項	10
○第1回考える会での主なご意見等	24
○流域住民アンケート調査の結果	27

考える会における説明内容

前 回

貴志川流域及び河川の概要

貴志川流域の河川の現状と課題

- ・治水、河川の利用、河川環境の現状と課題

今 回

河川整備計画の目標に関する事項

- ・河川整備計画の対象、河川整備計画の目標

河川の整備の実施に関する事項

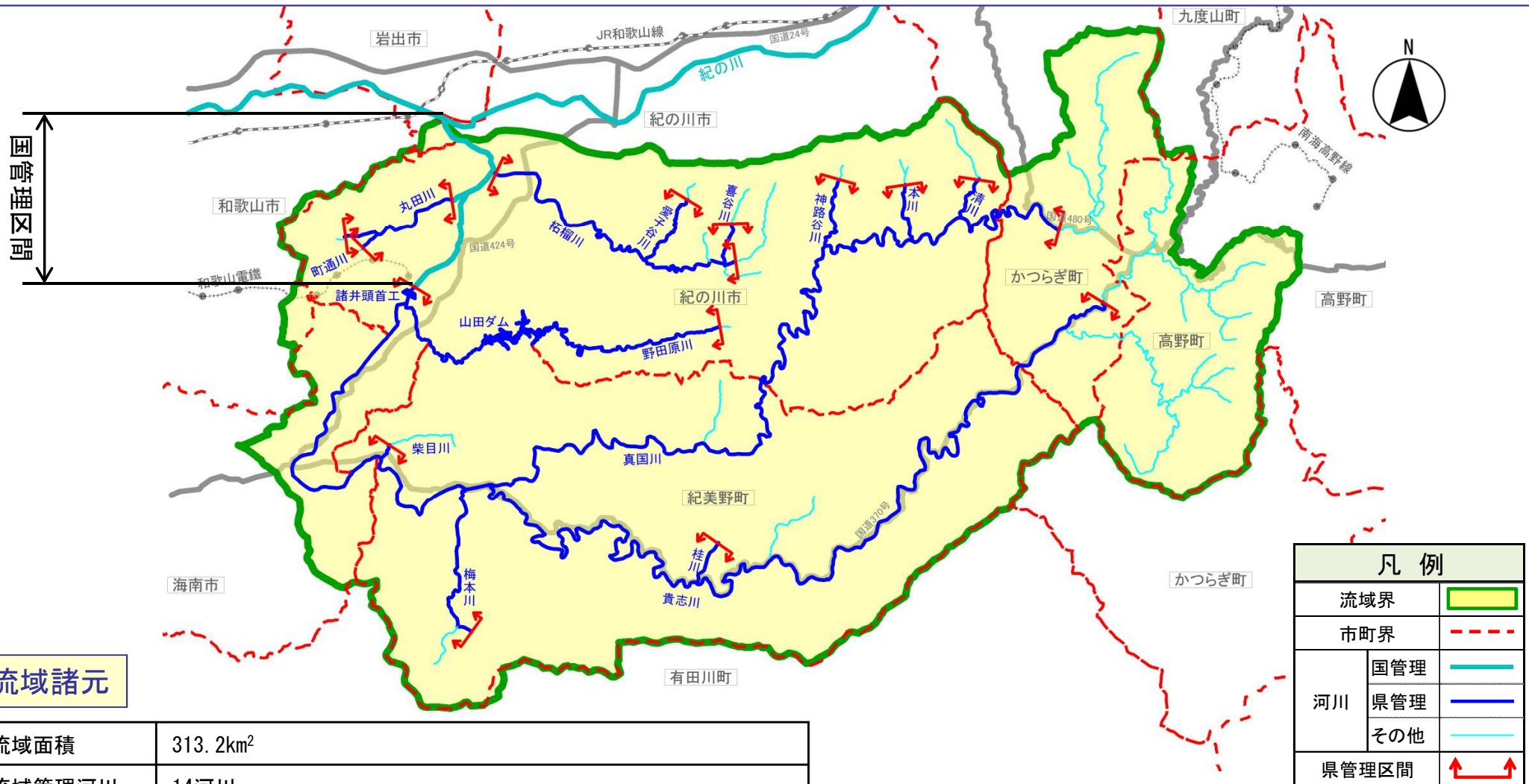
- ・河川工事の目的(河川工事の内容)
- ・河川の維持の目的、種類及び施工の場所(維持管理)
- ・その他河川整備を総合的に行うために必要な事項(ソフト対策)

河川整備計画の目標に関する事項

河川整備計画の目標に関する事項

河川整備計画の対象区間

- ・貴志川流域河川整備計画の対象は、貴志川流域内における和歌山県が管理する全区間とする。



流域諸元

流域面積	313.2km ²
流域管理河川	14河川
関連市町	海南市、紀の川市、紀美野町、かつらぎ町、九度山町、高野町
人口※	15万人（平成22年国勢調査）

※海南市、紀の川市、紀美野町、かつらぎ町、高野町の合計

河川整備計画の目標に関する事項

河川整備計画の対象期間

- ・本河川整備計画の対象期間は、計画策定から概ね20年とする。
- ・河川整備計画は、現状の流域の社会状況、自然状況、河道状況に基づき作成するものであり、策定後の状況変化や新たな知見・技術の進歩等によって、適宜、河川整備計画を見直すものとする。

河川整備計画の目標に関する事項

(1) 洪水による災害の発生防止または軽減に関する事項

計画的に河川工事を実施する河川

- 近年、浸水被害が発生した河川
- 床上浸水等、浸水被害が大きな河川



- ・貴志川
- ・柘榴川

※局所的に浸水被害が発生している真国川については、局所対策により浸水被害の低減を目指します。

河川整備計画の目標に関する事項

(1) 洪水による災害の発生防止または軽減に関する事項

ハード対策

- ・既往最大洪水に対して、家屋の浸水被害を解消することを目標とする。

貴志川	既往最大洪水(平成23年9月洪水)と同規模の洪水に対して、家屋浸水被害を解消することを目標とする。
柘榴川	既往最大洪水(平成13年6月洪水)と同規模の洪水を安全に流下させることを目標とする。

ソフト対策(超過洪水対策)

- ・洪水情報の提供(洪水時の水位情報の提供・ハザードマップ等)。
- ・水防体制の維持・強化(水防活動等)。

河川整備計画の目標に関する事項

(2) 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標

- ・現状の水利用や河川の流況の実態を把握に努めるとともに、河川に生息・生育する動植物や生態系の保全、清潔な流水の保持など、流水の正常な機能が維持されるように関係機関との連携を図る。
- ・渇水時の被害を最小限に抑えるため、円滑な渇水調整と関係者への適切な情報提供が行われるように、関係機関及び利水者との連携を強化する。

(3) 河川環境の整備と保全に関する目標

水質

- ・河川の利用状況、沿川地域の水利用状況、現状の環境を考慮し、下水道整備等の関連事業や関係機関との連携・調整及び地域住民との連携を図りながら、現状の水質の改善・保全に努める。

河川整備計画の目標に関する事項

(3) 河川環境の整備と保全に関する目標

動植物の生息・生育環境

- ・貴志川流域内の河川は、多様な生物の生息・生育空間となっていることから、現況の良好な生息・生育環境の維持・保全に努める。
- ・河岸の河畔林についても、後背の山地部や周辺地域・農地等との緩衝帯・連続性確保等、重要な役割を担っており、維持・保全に努める。

河川景観及び河川空間

- ・貴志川流域の河川空間は、人と自然がふれあえる貴重な空間となっており、河川特性を考慮した上で、水辺に近づきやすい工夫や親水施設の整備等、水辺空間の維持・形成に努める。
- ・関係機関と連携しつつ、河川利用者のモラル向上に向けた啓発活動を行い、不法占用やゴミの不法投棄等に対し適切な処置を行う。

地域住民との連携

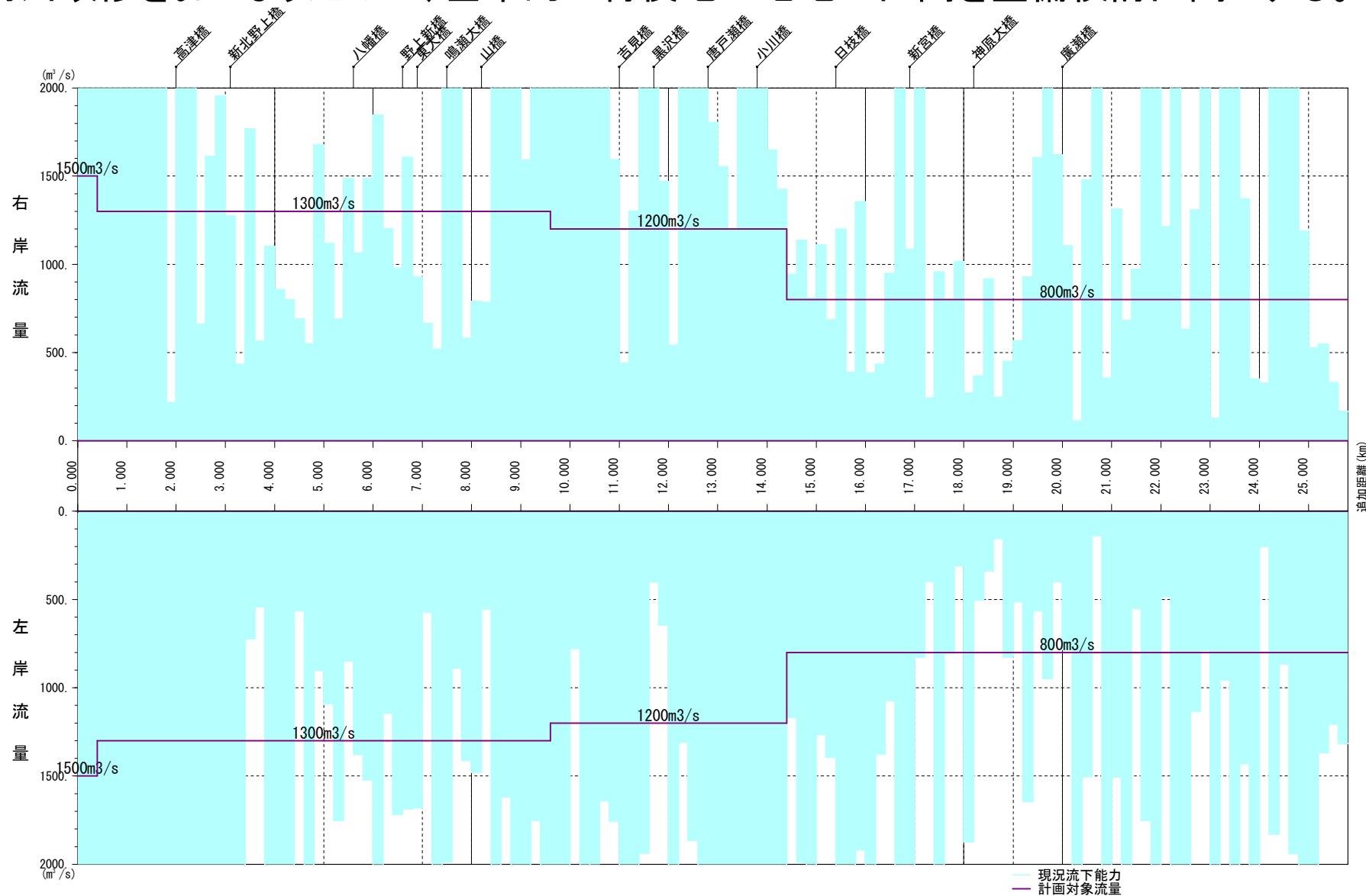
- ・地域住民にとって豊かで魅力ある河川とするため、河川工事の実施に先立ち調整を行う等、地域住民と連携した川づくりに努める。
- ・水辺を活かした子どもたちの総合学習等の支援を行うため、地域住民や関係機関と連携した取り組みを進めるとともに、地域住民による河川愛護、河川環境保全に向けた取り組みに対する支援を継続する。

河川の整備の実施に関する事項

河川の整備の実施に関する事項

現況流下能力 ～貴志川～

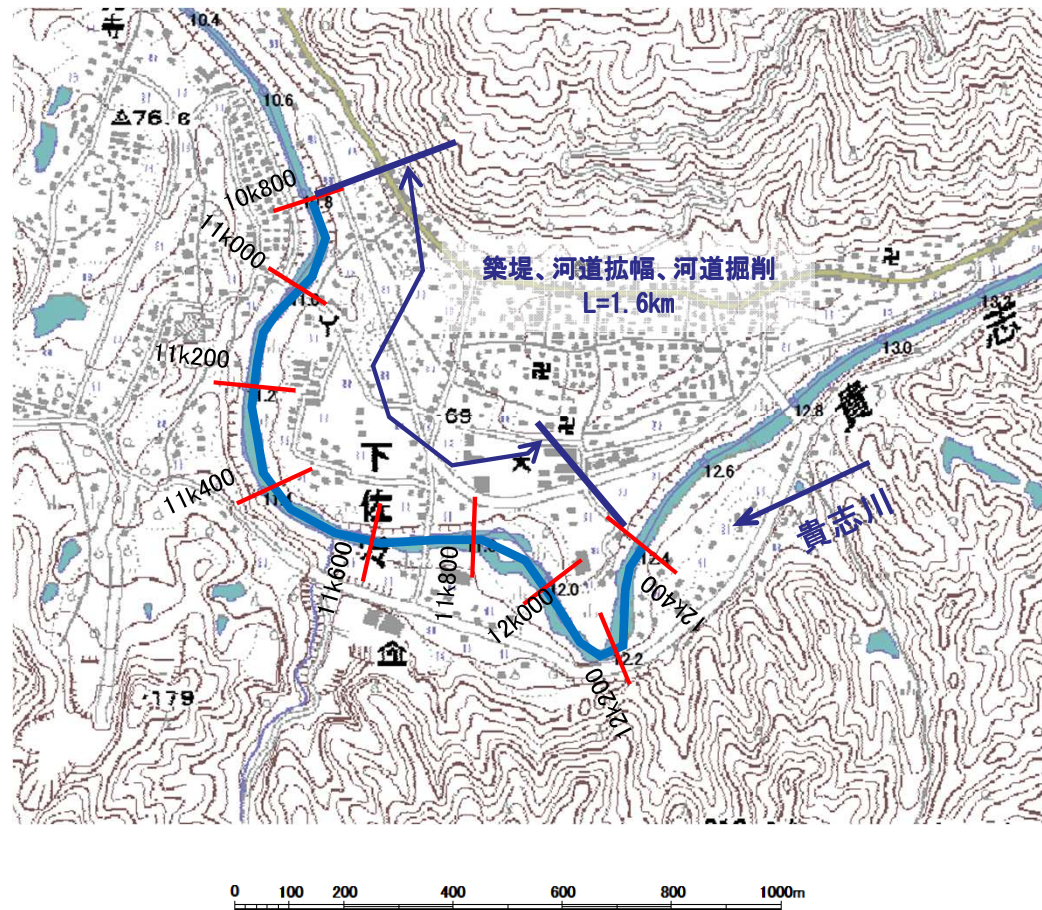
- 計画対象流量に対して現況河道で流下能力が不足する箇所が多くある場合は、効率的・効果的な河川改修をおこなうために、基本的に背後地が宅地の区間を整備検討区間とする。



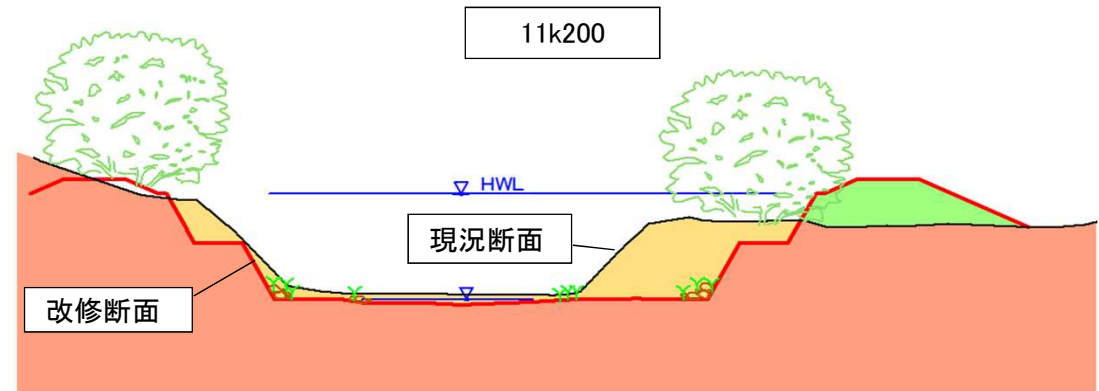
河川の整備の実施に関する事項

貴志川: 区間2: 10K800~12K400 L=1.6km

<平面図>



<横断面図>

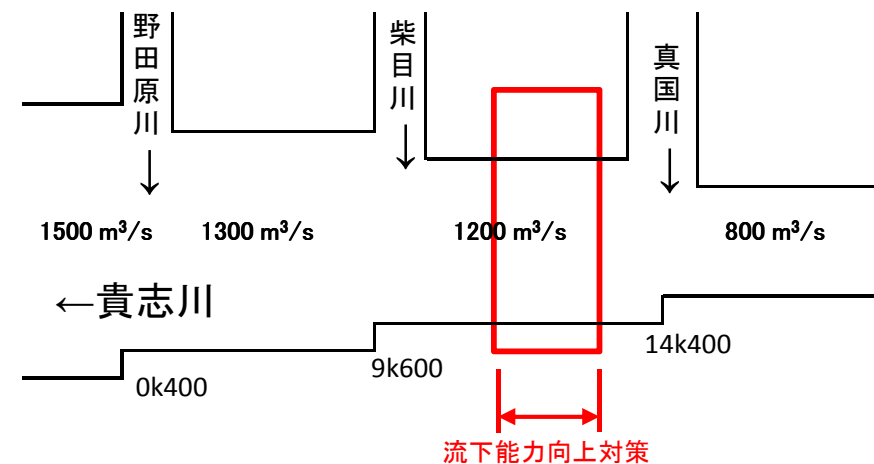


【 11k200付近 】

<凡 例>

- 現況地盤 (Current ground)
- 盛土部 (Fill area)
- 掘削部 (Excavation area)

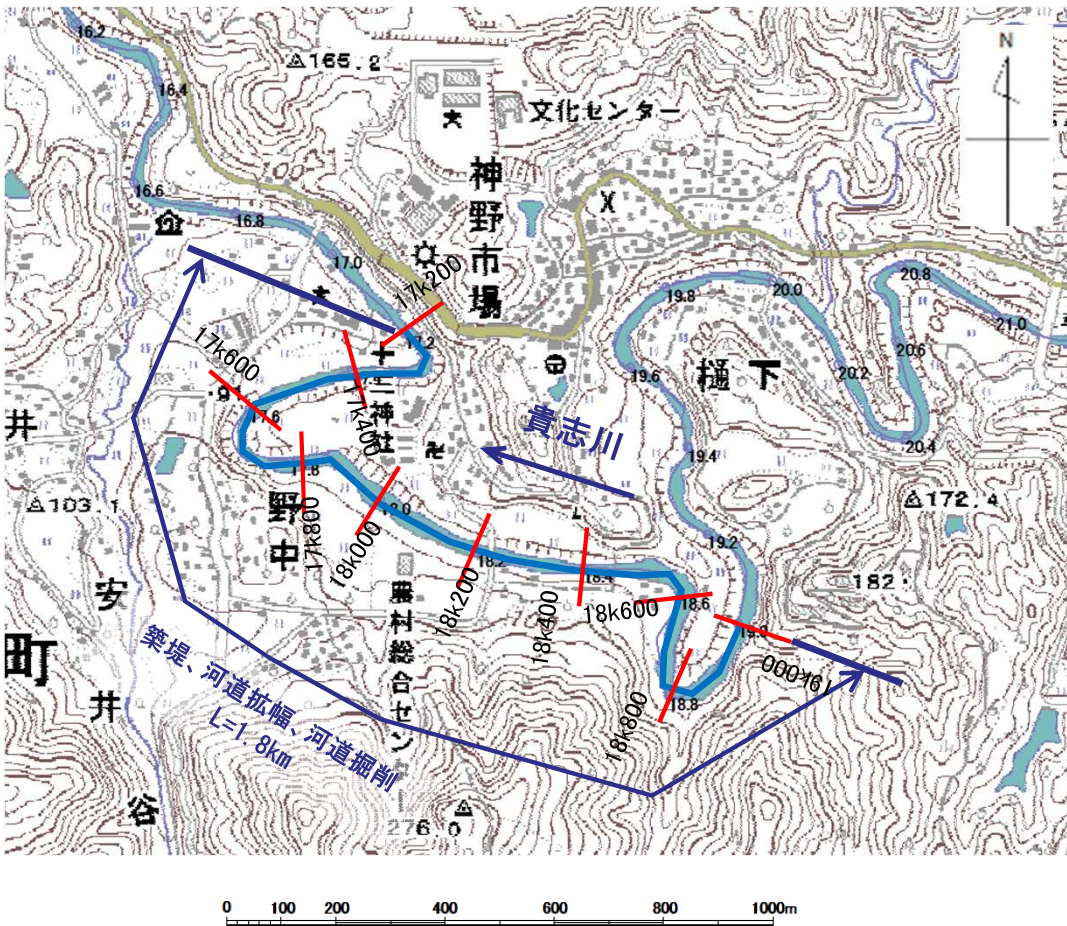
<整備計画流量配分図>



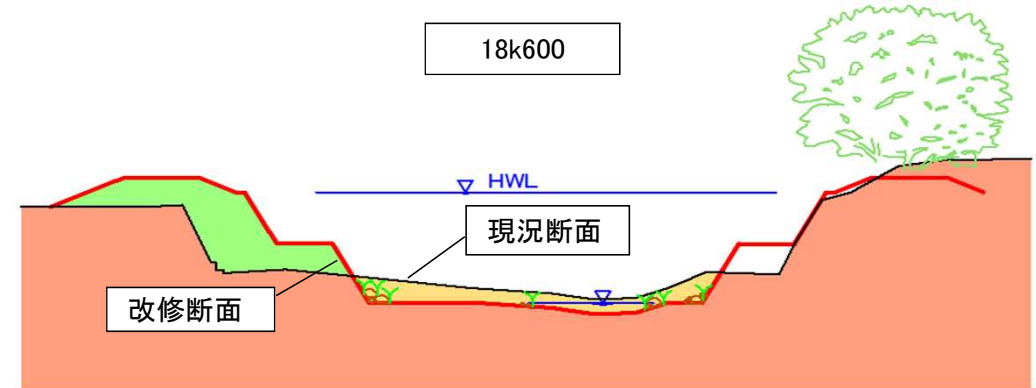
河川の整備の実施に関する事項

貴志川: 区間3: 17K200~19K000 L=1.8km

<平面図>



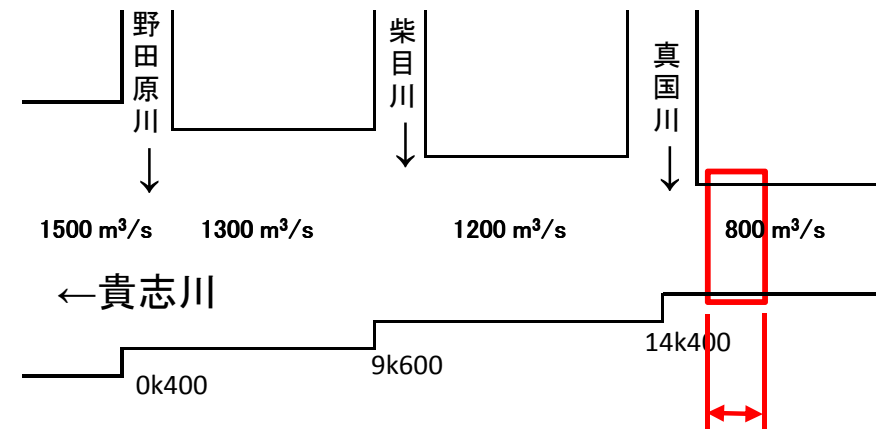
<横断面図>



<凡 例>

- 現況地盤
- 盛土部
- 掘削部

<整備計画流量配分図>

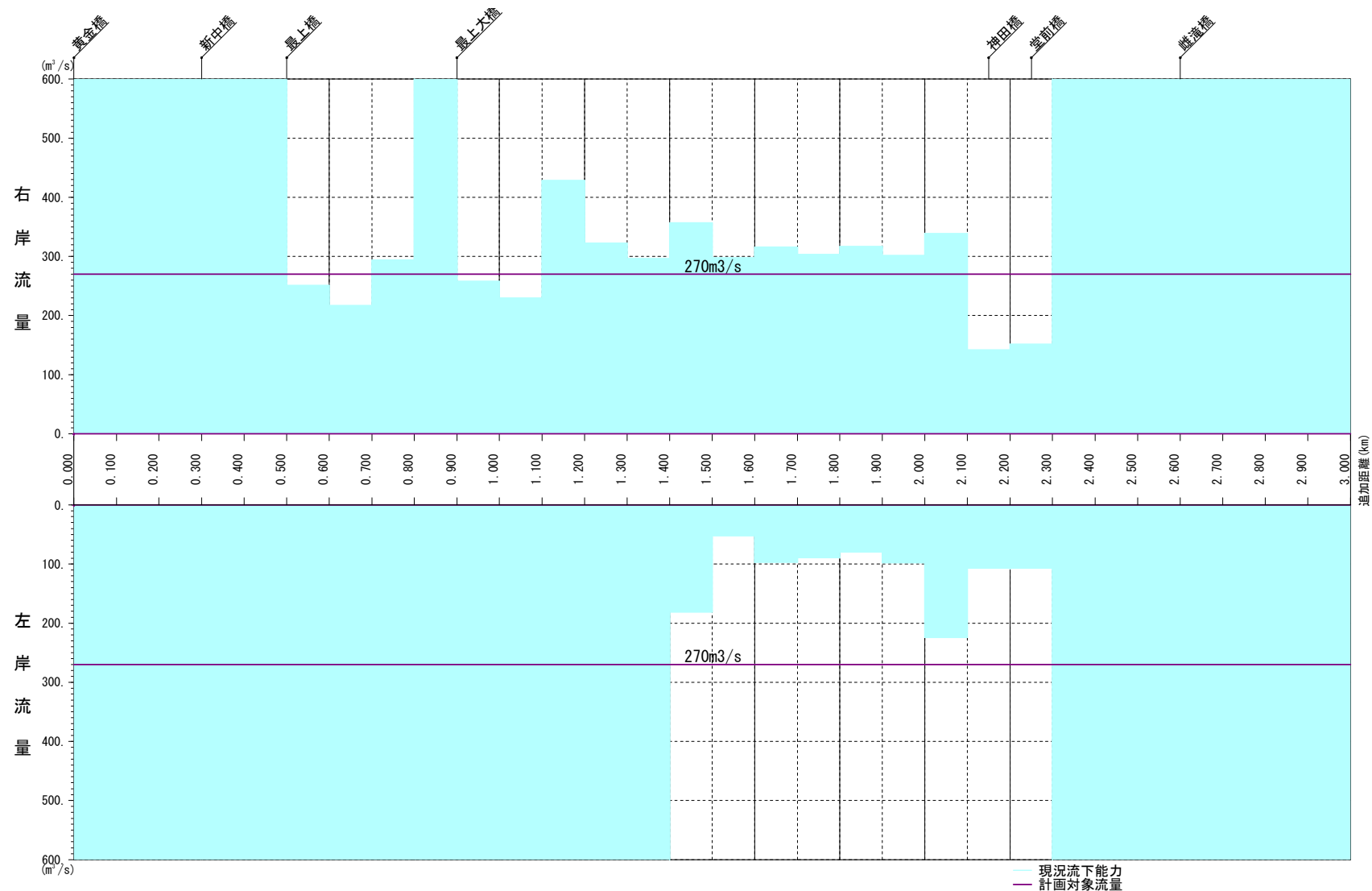


流下能力向上対策

河川の整備の実施に関する事項

現況流下能力 ～柘榴川～

- 計画対象流量に対して現況河道で流下能力が不足する箇所が多くある場合は、効率的・効果的な河川改修をおこなうために、基本的に背後地が宅地の区間を整備検討区間とする。

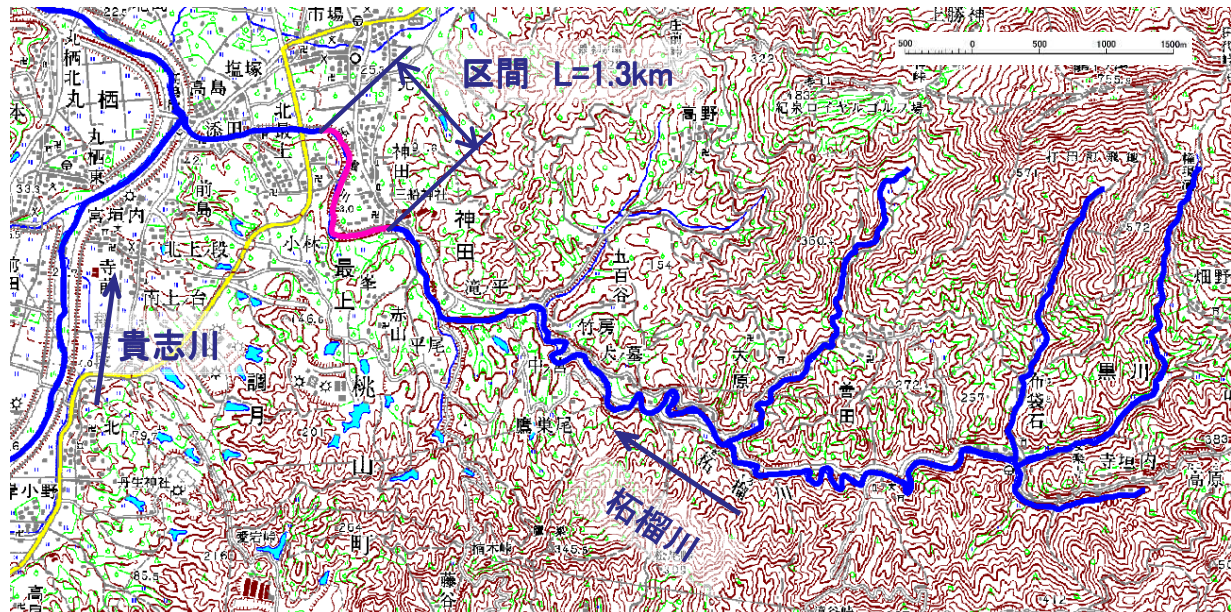


河川の整備の実施に関する事項

河道の状況 ～柘榴川～

	測点(km)	0.0	1.0	2.0	3.0
流下能力 不足区間	右岸	不足 不足 不足			
	左岸	不足			
H23T12号 浸水実績	右岸	浸水			
	左岸				
河岸の 状況	右岸	築堤 掘込			
	左岸	築堤	山付	掘込	築堤 掘込 山付
背後地 利用	右岸	農地	農地	宅地	宅地 農地
	左岸	宅地	山付	農地	山付
整備検討区間		2-7区間 区間: 1.0-2.3			

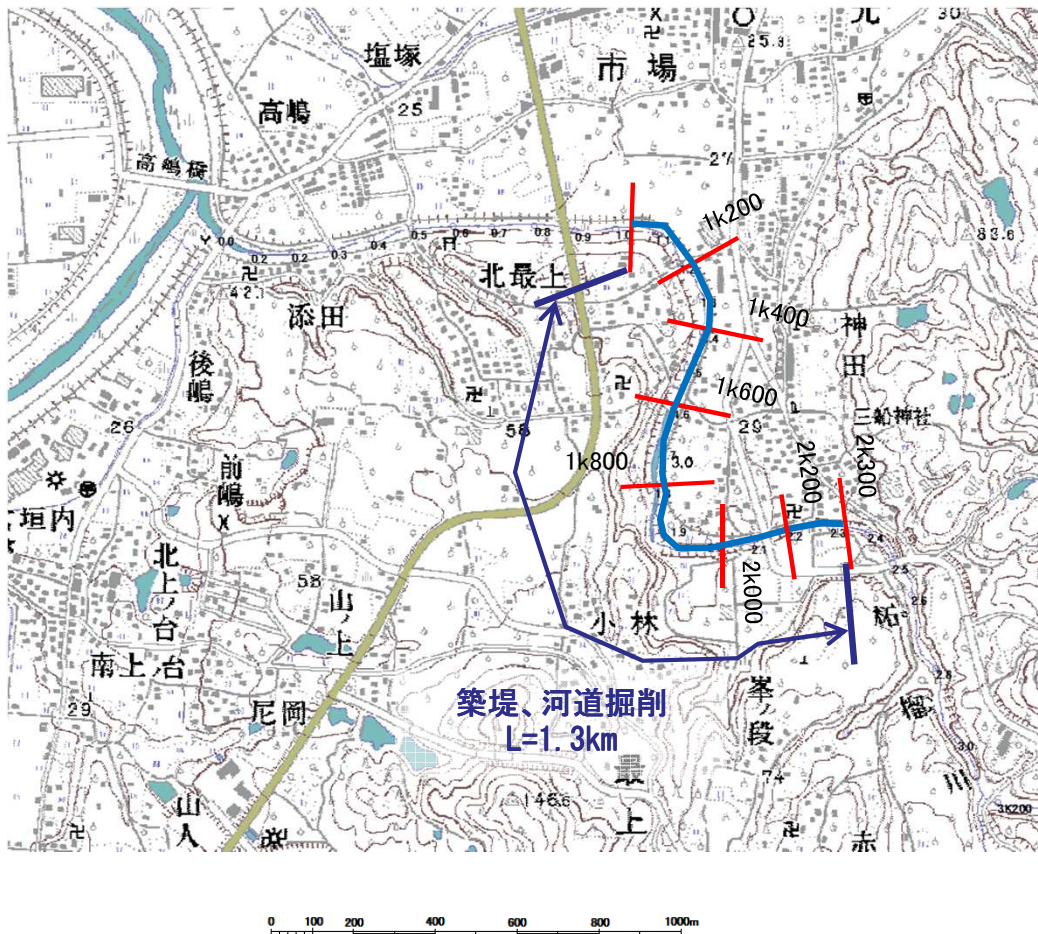
位置図



河川の整備の実施に関する事項

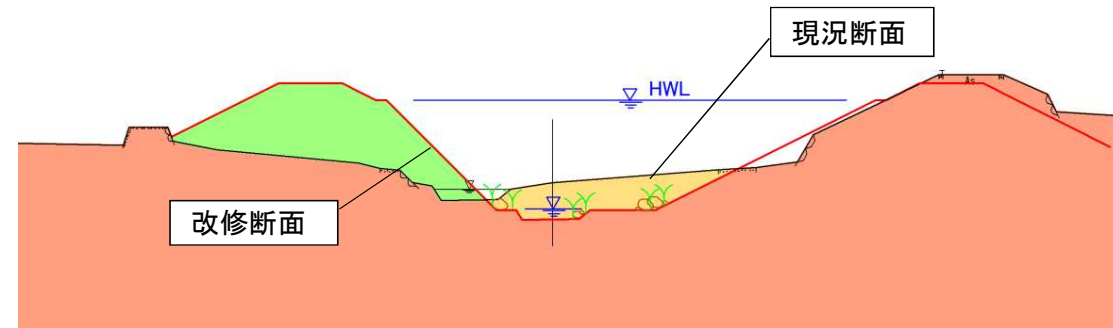
柘榴川: 1K000~2K300 L=1.3km

<平面図>



<横断面図>

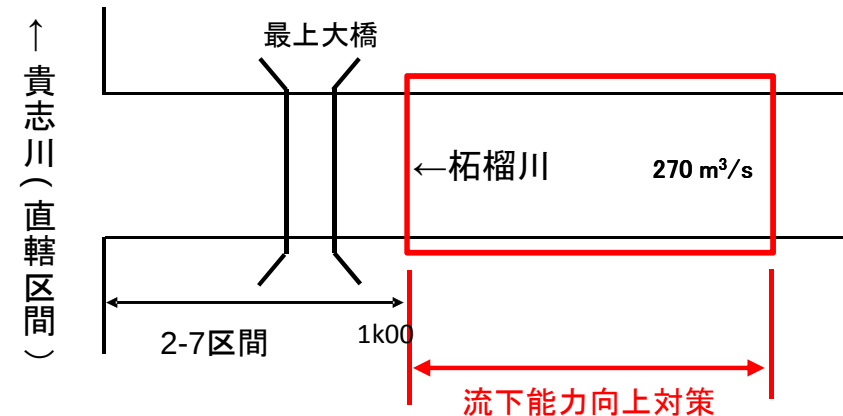
1k600



<凡 例>

- 現況地盤
- 盛土部
- 掘削部

<整備計画流量配分図>



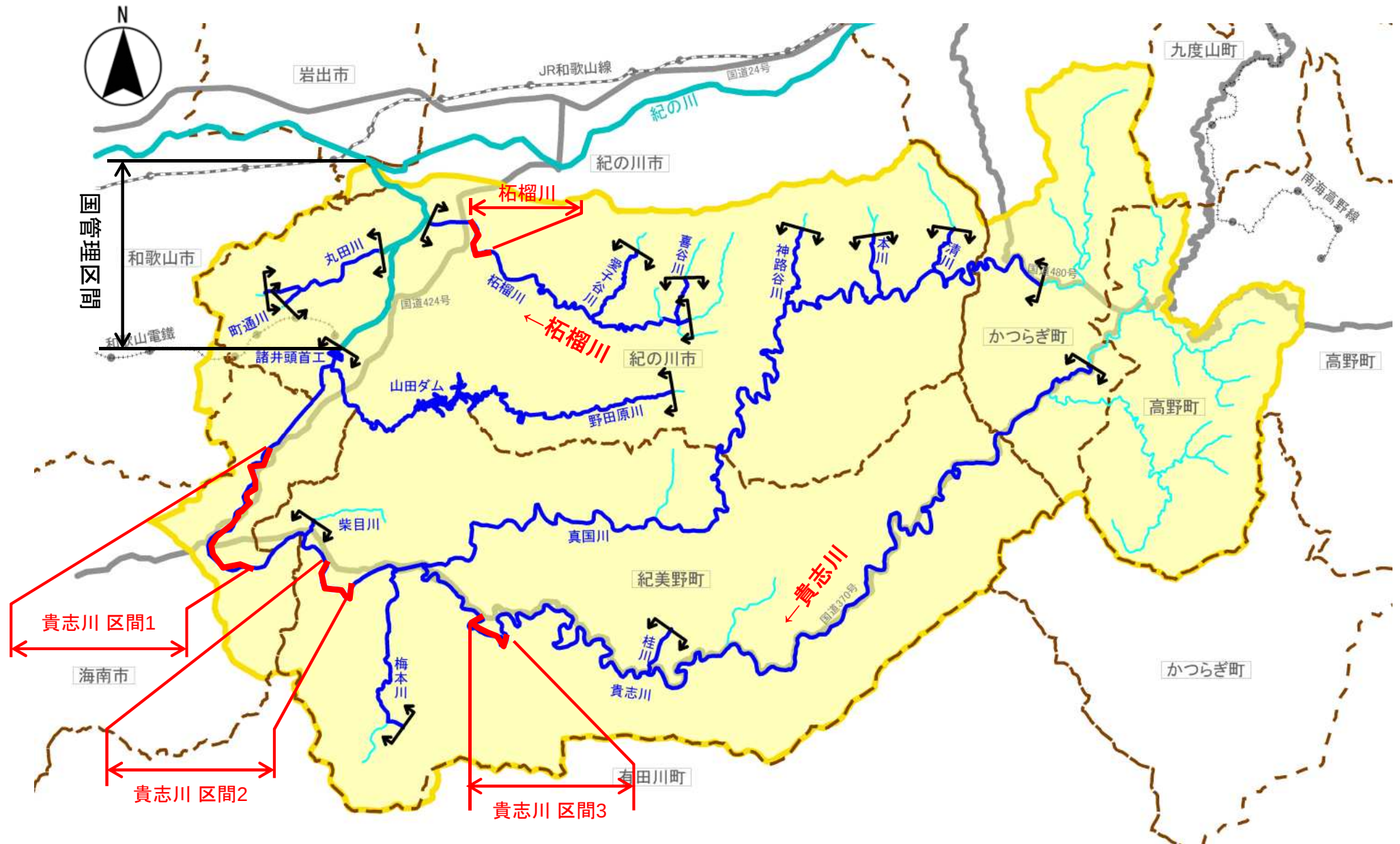
河川の整備の実施に関する事項

計画的に河川工事を実施する区間

整備目的	対象河川		計画流量	延長	整備区間	主な整備内容
流下能力 向上対策	貴志川	区間1	1,300m ³ /s	5.0km	3K400～8K400	築堤、河道拡幅、河道掘削
		区間2	1,200m ³ /s	1.6km	10K800～12K400	築堤、河道拡幅、河道掘削
		区間3	800m ³ /s	1.8km	17K200～19K000	築堤、河道拡幅、河道掘削
	柘榴川		270m ³ /s	1.3km	1K000～2K300	築堤、河道掘削

河川の整備の実施に関する事項

河川工事の実施箇所



河川の整備の実施に関する事項

水防活動の支援等

県の河川情報システム



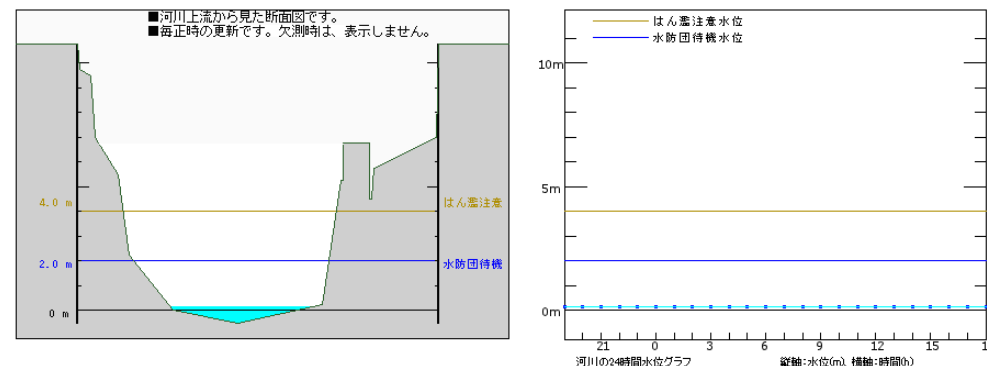
野上新橋観測所

和歌山県 河川雨量情報

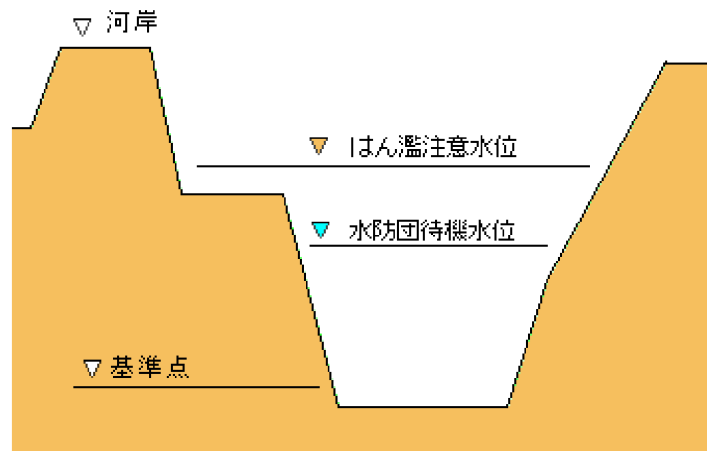
海草振興局建設部 野上新橋 水位観測所 2015年10月16日18時20分 現在

野上新橋 水位観測所		観測局情報:野上新橋くのかみしんぼし	
観測局情報	現状水位(m)	0.14	
水位状況図	河川名	賀志川(ぎしがわ)	
水位変化表	所在地	海南市 野上中(のかみなか)	はん濫注意水位(m)
	所在地詳細	野上新橋 橋脚	水防団待機水位(m)
			4.00
			2.00

水位状況図



水位情報



洪水の危険レベル	洪水予報の課題	水位の名称	市町村・住民に求める行動
レベル2	氾濫注意水位	はん濫注意水位	住民ははん濫に関する情報に注意
レベル1	—	水防団待機水位	水防団待機

河川の整備の実施に関する事項

流域における取り組み

- ・貴志川水系の河川の治水、利水、環境に対する意識や理解の向上を図るため、県のホームページや各種イベント等を通じて、河川に関する広報活動を強化するとともに、河川愛護月間等における広報活動を通じて、河川愛護、河川美化等の啓発を強化する。
- ・良好な河川環境を保全するため、地域団体等が自主的に行う清掃、除草及び緑化等の活動を支援するスマイルリバー制度や河川愛護団体への支援を推進するとともに、水系内河川の水害や自然環境に関する事項を含め、水辺を活かした子どもたちの総合学習等の支援を行うため、地域住民や関係機関と連携した取り組みを進める。

河川愛護活動の状況



貴志川



柘榴川

河川の整備の実施に関する事項

その他河川整備を行うために必要な事項

河川管理施設の維持管理

- ・自然環境、景観、親水機能の保全に努めつつ、法定河川区間の河川管理施設の機能の維持を図るため、占用者及び関係機関と調整を図りつつ、治水・利水・環境の視点から必要な維持管理や点検を実施する。
- ・河川の維持管理においては地域住民の視点が重要であることから、地域住民等による自主的な維持管理活動が行われるような河川においては、必要に応じ、維持管理手法について地域住民等との連携・調整を図ることとする。

局所対策

- ・真国川等、浸水被害が発生している河川については、被害の低減を目指して、下流との安全度のバランスを図りながらネック部の解消を行う。

第1回考える会での主なご意見等

第1回考える会での主なご意見等

分類	意見・質問	回答等
治水対策・維持管理	・紀の川本川の岩出頭首工が治水上問題である。貴志川合流点付近の掘削等、治水対策を進めて頂きたい。 ・柘榴川で浚渫してもすぐに堆積するのは、岩出頭首工が問題である。 ・少しの降雨でも水位が上昇する。諸井堰から紀の川合流点区間の浚渫を望む。	御意見は、国管理区間における内容であるため、管理者である国土交通省に伝えていきます。
	柘榴川の国道424号より上流区間の改修はいつ行うのか。堤防の亀裂、妙見排水機場の老朽化対策は行うのか。	柘榴川の国道424号付近より上流については、流下能力向上対策として計画的に河川工事を実施する区間として位置づけており、整備計画策定後下流から進める予定です。 また、堤防、護岸等の河川管理施設については、定期的な巡視及び点検を行い、危険箇所、老朽箇所の早期発見とその補修に努めます。なお、妙見排水機場については、施設管理者での対応となります。
	船戸、高島地点の既往洪水時における流量を教えてください。	記録に残っている中での既往最大洪水時の流量は、紀の川の船戸地点で約11,000m ³ /s(昭和34年9月 伊勢湾台風)、貴志川の高島地点で約1,500m ³ /s(平成23年9月 台風12号)とされています。
	柘榴川の整備区間はどこか。	流下能力が不足する区間である最上大橋上流から堂前橋上流までの1.3kmを計画的に河川工事を実施する区間として位置付けをしています。

第1回考える会での主なご意見等

分類	意見・質問	回答等
治水対策・維持管理	貴志川流域の河川整備は、紀の川に架かる岩出橋の架け替えが完成してから行うのか。	貴志川流域における河川整備は、岩出橋の架け替え工事とは関係はなく、河川整備計画策定後、計画的に河川工事を実施します。
	柘榴川の橋梁は老朽化しているが、河川整備期間の20～30年間待つのか。	橋梁の老朽化対策等については各施設管理者が対応することになります。
	山の荒廃、竹林の増加で土砂が流出しているため、土砂の流入を防ぐ必要がある。	流域の森林が適正に保全されるように、関係自治体、住民をはじめとする多様な主体が行う森林保全に向けた取組と連携を図ってまいります。
	最低限として人命を、次に財産といったように、順位付けをして河川改修を行うべきではないか。その中で、例えば紀の川合流点の掘削や土砂流出を抑える雑木林の植林等の中で、優先すべき整備を行う必要がある。	河川整備計画では既往最大洪水に対して、家屋浸水を解消することを目標とし、それを超える規模の洪水に対しては、何としても人命を失わないようソフト対策を実施することとしています。
	河川整備は、洪水を抑える方向にあるが、減災の視線から、雁堤（霞堤）のような発想等の対策を考える必要がある。	河川整備の内容は降雨の状況や背後地の状況等、地域の特性を踏まえて検討しています。
	土砂防止の堰堤等、砂防と一体となった整備が必要である。	流域の森林が適正に保全されるように、関係自治体、住民をはじめとする多様な主体が行う森林保全に向けた取組と連携を図ってまいります。

流域住民アンケート調査の結果

流域住民アンケート調査の実施

期間	平成27年2月23日(月)～3月13日(金)
対象エリア	貴志川流域の以下の3市3町 ○ 紀の川市 : 旧貴志川町、旧桃山町(ただし、段と段新田は除く)、旧打田町(竹房、高野)、旧粉河町(上鞆渚、下鞆渚、中鞆渚) ○ 海南市 : 高津、七山、孟子、原野、野尻、下津野、別院、野上中、野上新、沖野々、九品寺、木津、棕木、溝ノ口 ○ 紀美野町 : 全域 ○ かつらぎ町 : 上天野、下天野、志賀、新城、神田 ○ 高野町 : 湯川、花坂 ○ 岩出市 : 山崎

流域住民アンケート調査の結果

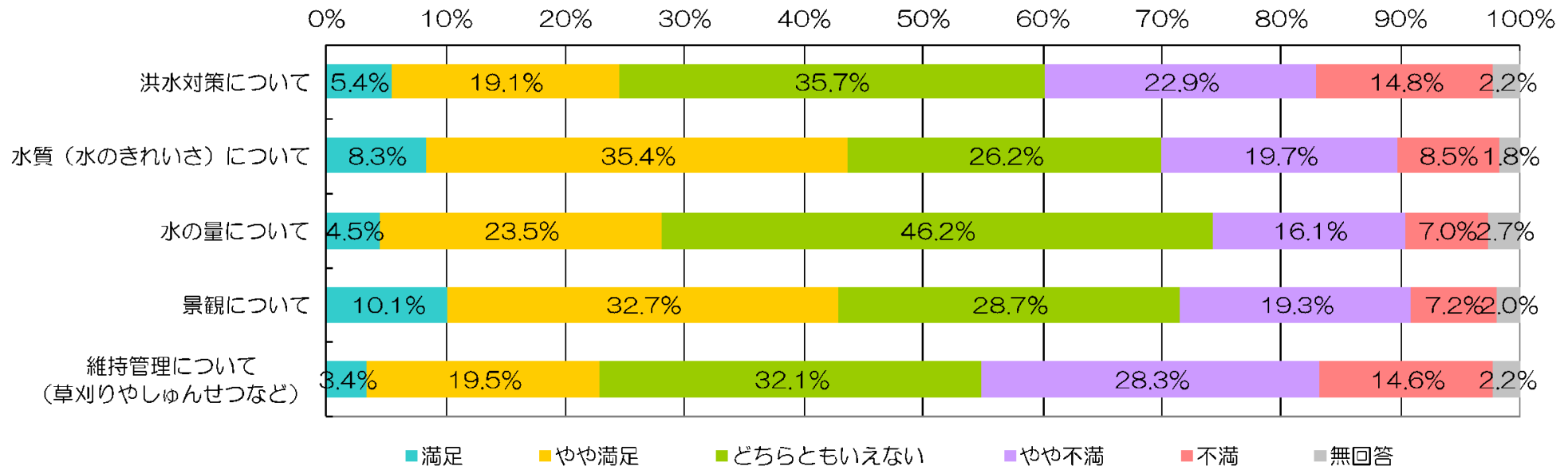
配布数	1200通	無作為に抽出
回答数	492通	必要標本数381を満足する
回収率	41%	

質問内容	項 目	細 目
	貴志川のイメージについて	
	今後の貴志川の河川整備 についての要望	優先すべき対策
		治水対策について、望まれている整備内容
		整備において、コンクリートを使用することについて
		環境対策について、望まれている整備内容
	貴志川の維持管理について	維持管理について、望まれている整備内容
		清掃活動など、回答者が参加・実施しているもの
		今後、どのように参加・実施したいか
	貴志川の利用について	利用目的
		最も訪れる場所とその頻度
		水辺への近づきやすさ
	回答者の属性	性別、年齢、お住まい、ご職業、住居年数(現住所)

流域住民アンケート調査の主な結果

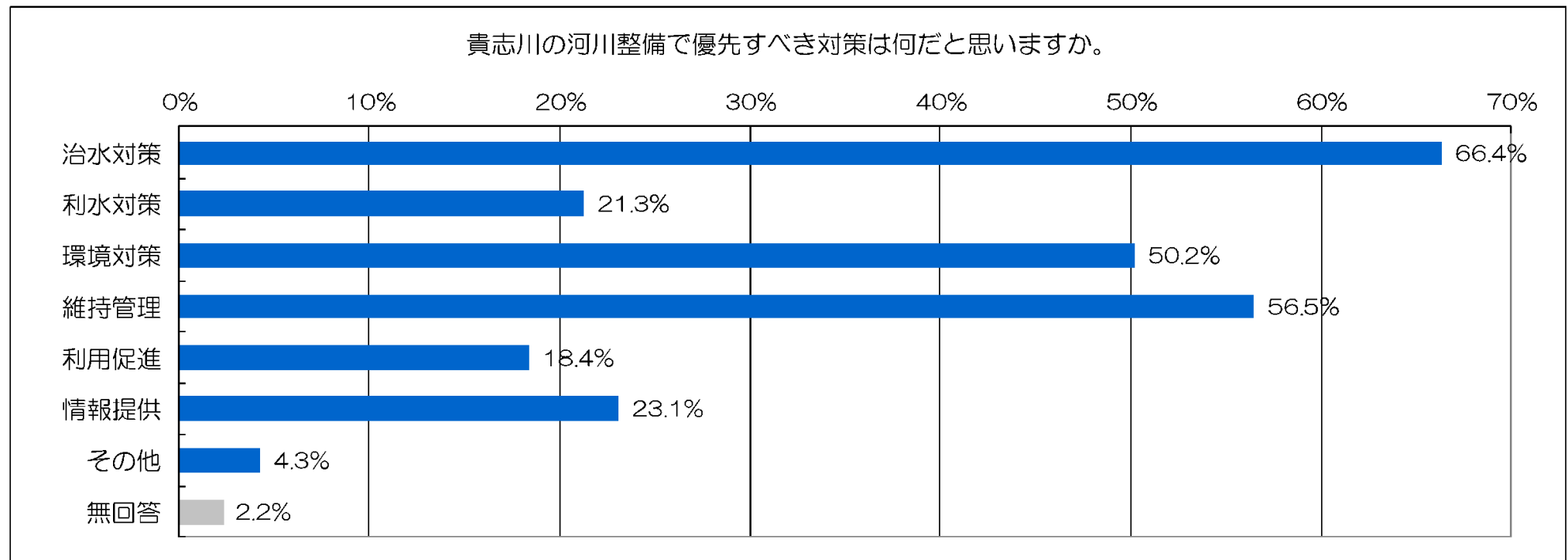
項 目	細 目	傾 向
貴志川のイメージについて	—	・水質、景観について、満足度が高く、洪水対策、維持管理について、満足度が低い。

「貴志川」についてどのように感じていますか



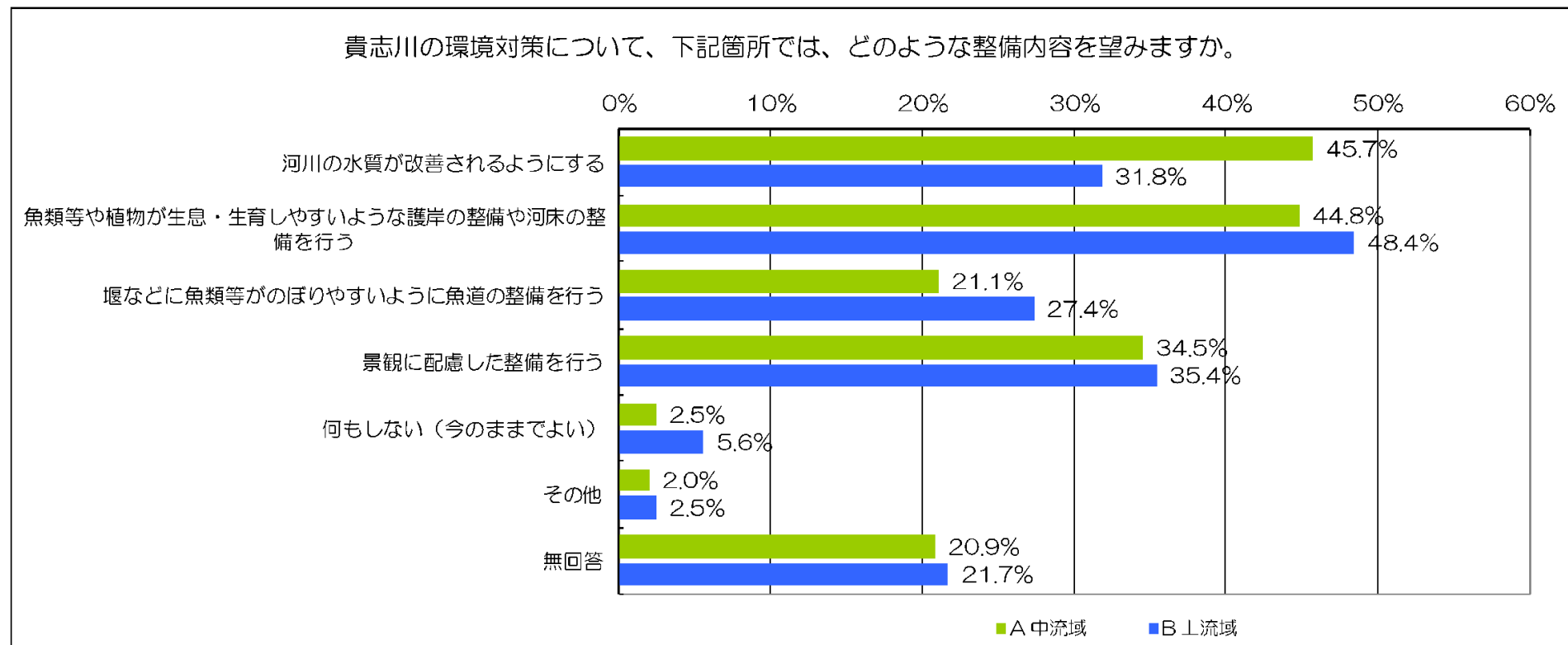
流域住民アンケート調査の主な結果

項 目	細 目	傾 向
今後の貴志川の河川整備についての要望	優先すべき対策	・治水対策に対する割合が最も高く、次に、維持管理、環境対策と続く。



流域住民アンケート調査の主な結果

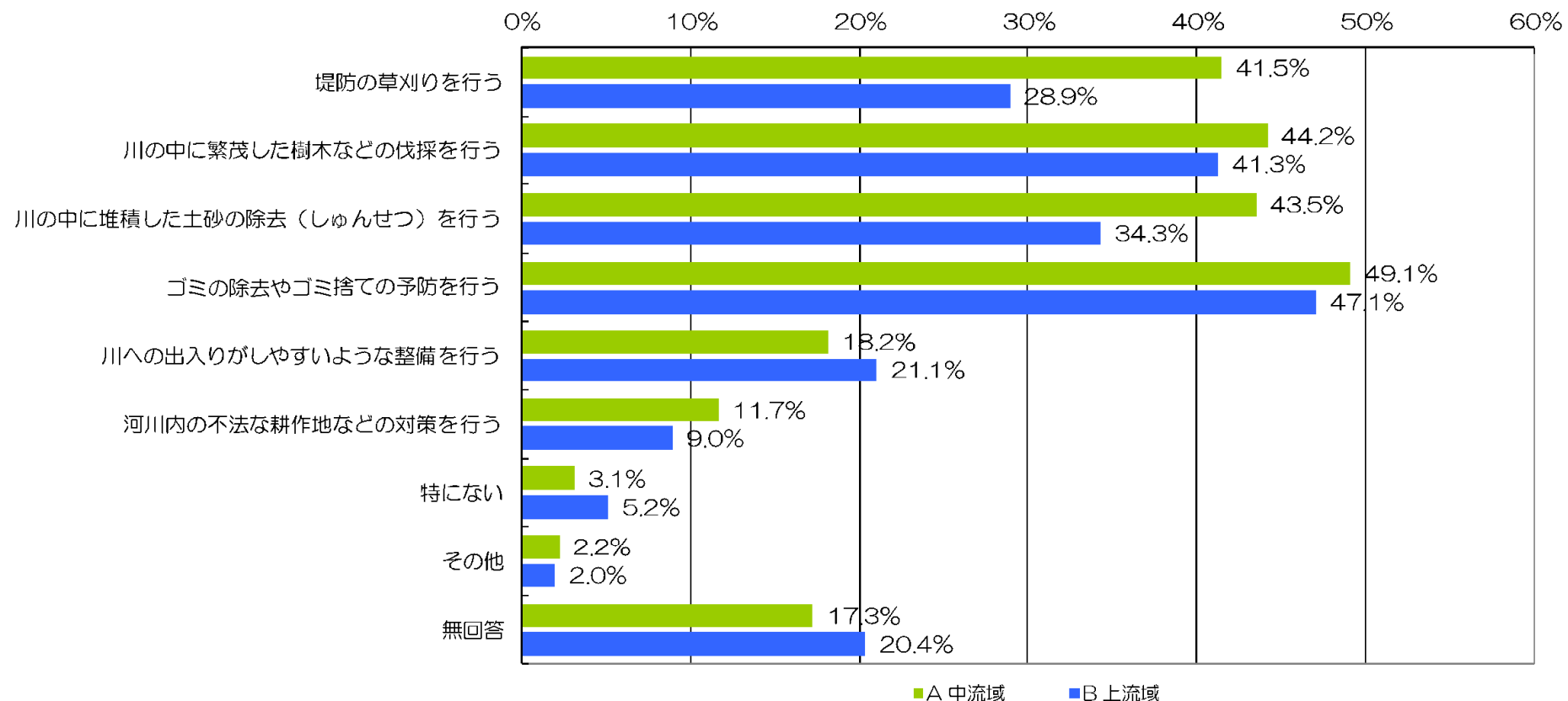
項 目	細 目	傾 向
今後の貴志川の河川整備についての要望	環境対策について、望まれている整備内容	・中流域、上流域とも、魚類等や植物に配慮した整備を望む割合が高くなっている。また、景観に配慮した整備を望む割合も高くなっている。 ・中流域については、河川の水質改善に対する割合が高くなっている。



流域住民アンケート調査の主な結果

項 目	細 目	傾 向
貴志川の維持管理について	維持管理について望まれている整備内容	・中流域、上流域とも、「ゴミの除去やゴミ捨での予防」が最も高く、次に、「川の中に繁茂した樹木などの伐採」、「川の中に堆積した土砂の除去（しゅんせつ）」、「堤防の草刈り」と続く。 ・中流域、上流域とも回答の傾向は同じである。

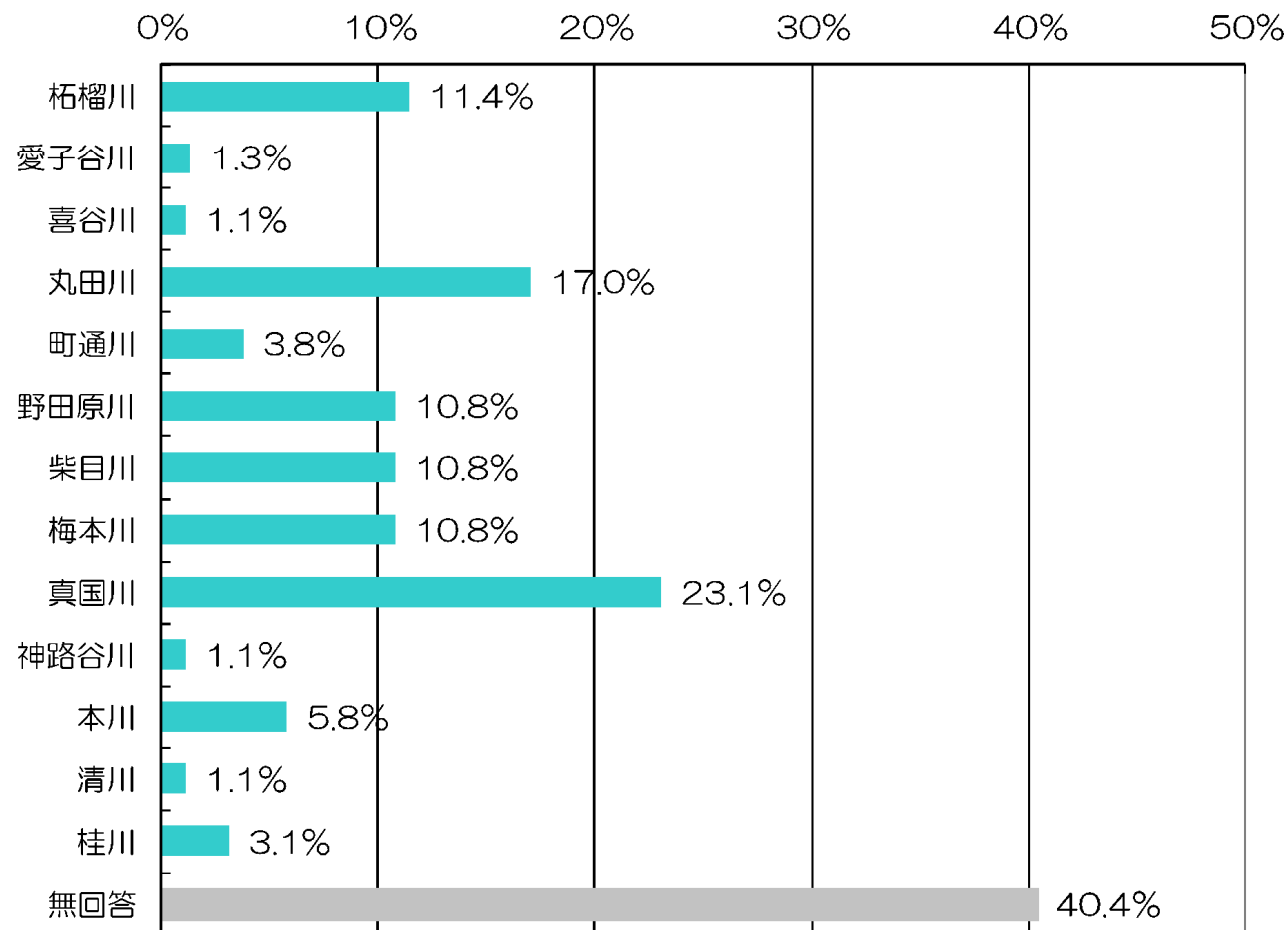
貴志川の維持管理について、下記箇所では、どのような整備内容を望みますか。



流域住民アンケート調査の主な結果

項 目	細 目	傾 向
貴志川の支川について	整備が望まれる河川	・真国川が最も多く、次に丸田川、柘榴川と続く。

貴志川流域の支川において、河川の整備が望まれる河川について



本資料は、貴志川流域河川整備計画(素案)の作成にあたり、「貴志川流域(紀の川市)を考える会」において、委員からの意見聴取のため、和歌山県が作成した資料であり、本資料の内容は、調査・検討途上の情報を含み、今後の県による調査・検討・確認作業、委員や県民等からのご意見・ご指摘などを受け、追加・修正される可能性があります。